

松本市第12次基本計画（案）に係る市民説明会の結果

1 開催日及び場所

令和8年1月12日（月・祝）午後1時30分～午後3時30分
Mウイング 3-1・3-2会議室

2 内容

(1) 第1部

ア 第12次基本計画（案）について策定のポイントを中心に説明
イ 人口ビジョン（案）について改訂のポイントを中心に説明

(2) 第2部

テーマ別に4つのグループに分かれて意見交換を実施

- ・グループ1 若者と女性の挑戦と定着を支える社会基盤の構築
- ・グループ2 学都松本にふさわしい学び環境の充実
- ・グループ3、4 暮らしの質を高める都市機能の強化

3 実施結果

(1) 参加人数

第1部 計 30名（うちオンライン参加6名）

第2部 計 20名

(2) 意見等に対する対応

区分	件数
ア 反映する意見	3件
イ 趣旨同一の意見	10件
ウ 参考とする意見	3件
エ 対応が困難な意見	0件
オ その他	2件
計	18件

4 意見等の概要及び市の考え方

(1) 計画全体

No.	意見等の概要	市の考え方
1	松本市が将来どのようなまちを目指していくのかについて、市民と行政が都市像を共有できると良い。目指す先が東京のようなまちではなく、松本らしさを大切にできれば良いと思う。	【イ 趣旨同一の意見】 基本構想2030に記載のとおり、松本市民が目指す基本理念に「三ガク都に象徴される松本らしさをシンカさせる」ことを掲げています。第12次基本計画は、この基本理念の実現に向けて、政策の方向性や重点戦略、新たに設定した重視する視点の下、具体的な施策の方向性を整理しました。

(2) 各論

No.	意見等の概要	市の考え方
2	<p>【基本施策 1-7】</p> <p>他の地域では、魅力的な図書館を整備し、観光や学びの中心の拠点として活用している事例が見られる。松本市が学都をうたうのであれば、図書館を学びのランドマークとして位置付け、若者が集い、学びが広がっていく場所にとできると良い。</p>	<p>【ウ 参考とする意見】</p> <p>近年、全国各地で図書館が学びや交流、にぎわいの拠点として整備され、市民だけでなく観光客など幅広い利用につながる事例が見られます。松本市においても、こうした新たな市民ニーズや社会の要請を踏まえ、松本市図書館未来プランに基づき、つながりや交流の拠点となり、市民の学びを支える地域の情報拠点となる図書館づくりを進めます。</p>
3	<p>【基本施策 3-1】</p> <p>松本市の町会活動について、現在の制度や運営が地域の実態と十分に合っていない部分があると感じている。松本市として、町会活動がどうあるべきかを明確に示した上で、市民に対して町会活動への参画を呼び掛けてほしい。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>町会は、多岐にわたる分野で重要な役割を担う最も身近な住民自治組織ですが、加入率の低下や担い手不足といった課題を抱えています。施策の方向性に記載のとおり、町会が果たす役割や目指す姿を踏まえつつ、時代に即した自治組織の役割や在り方を検討し、多様な住民が参画しやすい持続可能な町会づくりに向けて、行政が伴走型で支援する取組みを進めます。</p>
4	<p>【基本施策 3-4】</p> <p>松本市は、仕事の条件が整えば居住地として選ばれるまちだと思う。ワーケーションやお試し移住の取組みがさらに充実すれば、二拠点居住や移住への心理的・実務的なハードルが下がり、移住先として選ばれやすくなると思う。</p>	<p>【ア 反映する意見】</p> <p>全く知らない場所への移住はハードルが高く、ワーケーションやお試し移住などにより松本暮らしを気軽に体験できることは、移住のハードルを下げ移住促進につながることから、現状と課題の記載を修正しました。</p>
5	<p>【基本施策 3-4】</p> <p>松本市には起業意欲のある学生が多いと感じている。一方で、サザンガクは社会人の利用が多く、学生にとっては相談・利用のハードルが高い面があるため、学生が気軽に相談できる起業支援の窓口や場があると良いのではないかと。</p>	<p>【ア 反映する意見】</p> <p>学生が起業支援を気軽に利用できる環境を整えることは、学生の挑戦を後押しするとともに、大学生等が松本市に定着するきっかけづくりにつながると考えます。</p> <p>そのため、施策の方向性に学生が利用しやすい起業支援に関する視点を追記し、修正しました。</p>

6	<p>【基本施策 3-4】</p> <p>現役世代の独身者にとっても住みやすいと感じられる施策を推進してほしい。高齢者福祉や子育て支援については取り上げられているが、社会を支えている現役世代に対する施策も推進してほしい。</p>	<p>【ウ 参考とする意見】</p> <p>現在、松本市では、結婚、出産、子育てなど、ライフステージに応じた経済的負担を軽減するため、様々な支援を行っています。一方で、病気や失業など、ライフステージに関わらず全ての世帯において緊急的な経済的負担が生じる場合も想定されます。こうした全世帯を対象とする支援については、国による社会保障制度との役割分担を踏まえながら、移住・定住促進の観点も含め、市として独自に取り組む必要性について検討します。</p>
7	<p>【基本施策 3-7】</p> <p>外国人住民だけでなく、松本市を訪れる外国人旅行者ともつながると良いのではないかと。外国人旅行者と気軽に交流できるイベントや機会があると、国際交流がより身近になるのではないかと。</p>	<p>【ア 反映する意見】</p> <p>外国人旅行者と市民との交流機会を増やすことは、互いの文化的違いを理解するきっかけとなり、市民にとっても身近な国際交流の機会となります。多くの外国人旅行者が訪れる松本市の特性を活かした国際交流を推進することが重要であると考えことから、現状認識として追記し、修正しました。</p>
8	<p>【基本施策 5-2】</p> <p>中心市街地について、休日に出掛けて楽しむ選択肢が都会に比べて少ないと感じている。松本駅周辺において、駅ビルの充実や夜間・深夜まで利用できる飲食店などを含め、一定の都市機能があることで、中心市街地の魅力向上につながるのではないかと。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>施策の方向性に記載のとおり、松本駅周辺において、飲食や交流、滞在を楽しめる多様な都市機能の充実を図ることで、来街者の滞在時間の延長や賑わいの創出につながるため、現在、策定を進めている「えきまエリアビジョン」の内容を踏まえながら、今後、検討を進めます。</p>
9	<p>【基本施策 5-2】</p> <p>名産品や土産物については、松本駅で購入を完結させたいというニーズがある一方で、観光の視点からは、中心市街地の色々な場所で購入できる環境があった方が、まち歩きや回遊性の向上につながる。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>施策の方向性に記載のとおり、松本駅だけでなく、中心市街地の各所において買物ができる環境を整えることは、暮らす人や訪れる人の回遊性を高め、居心地がよく歩きたくなるまちの実現につながると考えています。そのため、中心市街地の再活性に向けた取組みの中で、まちなか全体の魅力向上を図ります。</p>

1 0	<p>【基本施策 5-2】</p> <p>松本市の中心市街地は素敵なまちである一方で、車が多くて歩きづらい。もっとウォーカブルになって、更に素敵な中心市街地になってほしい。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>現状と課題に記載のとおり、中心市街地への過度な自家用車の通過交通を抑え、歩行者が安心して回遊できる、歩きたくなるまちの実現に向けて、中心市街地の再設計に向けた取組みを進めます。</p>
1 1	<p>【基本施策 5-3】</p> <p>公共交通機関としてバスを利用しているが、スマートフォンアプリによる利用やキャッシュレス決済の種類が不十分だと感じている。交通キャッシュレス環境をさらに充実させてほしい。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>施策の方向性に記載のとおり、現在、松本市が公設民営により運行する「ぐるっとまつもとバス」では、全路線を対象に、QRコードを用いたアプリ「チケットQR」と「クレジットタッチ決済」によるキャッシュレス決済サービスを提供し、交通キャッシュレスの利用を促進しています。さらに、令和8年4月からは、Suica等の交通系ICカードが利用できる「長野県下統一地域連携ICカード」システムの導入を予定しており、利用者の利便性向上に向けて、交通キャッシュレス環境の更なる充実を進めます。</p>
1 2	<p>【基本施策 7-4】</p> <p>他の地域ではインバウンドの増加に伴い、オーバーツーリズムが課題となっていると聞く。松本市では、湧水をはじめとした歩いて楽しめる空間が、地域住民の活動によって維持されていることが大きな魅力であるため、観光振興に当たっては、そこに暮らす人の視点を大切に、観光一辺倒にならないよう適切にコントロールしてほしい。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>市街地の湧水は、水そのものの価値に加え、地域住民によって大切に守られてきた暮らしの営みを感じられる点に、観光的な魅力があると考えています。現状と課題に記載のとおり、観光戦略の推進に当たっては、市民が幸せに暮らしている地域そのものが、結果として観光客を引き付ける魅力となるという視点を基本に据え、持続可能な観光の在り方を目指します。</p>

(3) 人口ビジョン

No.	意見等の概要	市の考え方
1 3	<p>【人口に対する考え方】</p> <p>結婚や出産をしないという選択も含め、個人の人生や価値観が尊重される社会環境になると良い。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>基本構想 2030 に掲げる「一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまち」の実現に向け、人口定常化に関する考え方についても、個人の人生や選択が尊重されることを前提としています。</p>

		<p>人口ビジョン 4-1「人口定常化の定義」に記載のとおり、今回の改訂では、これまで用いてきた「自然増」という表現を見直し、結婚や出産を希望する人の思いが実現されることを意味する「出産の希望実現」という表現に改めました。価値観が多様化する中で、結婚や出産を希望する・しないに関わらず、一人ひとりの意思が尊重される社会環境の整備に向けて、引き続き取り組めます。</p>
1 4	<p>【人口定常化に向けた目標と共有する未来像】</p> <p>人口定常化に向けた目標として「特に 65 歳未満の人口を平準化」と示されているが、高齢者を重視していないとの誤解を生むおそれがあると感じる。注目する層を設定した意図が市民に正確に伝わるとともに、高齢になっても松本市に住み続けたいと思える良いイメージにつながると良い。</p>	<p>【ウ 参考とする意見】</p> <p>基本構想 2030 では、目指すまちの姿として「一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまち」を掲げており、高齢者を含め、全ての世代が安心して暮らし続けられるまちづくりを基本に据えています。人口定常化に向けて「65 歳未満の人口」に注目しているのは、特定の世代を優先する趣旨ではなく、将来にわたり高齢者を含む全ての世代が支え合える、持続可能な人口構造を実現するための視点です。こうした考え方が市民に正しく伝わるよう、分かりやすい情報発信に努めます。</p>
1 5	<p>【取組みの方向性】</p> <p>学生時代に松本市に住んでいても、卒業後に就職先がなければ市内に定着することは難しい。人口減少対策だけにとらわれず、現状の課題を踏まえた上で、松本らしさを大切にしながら、学生や若者が住み続けやすい環境づくりについて考えていくことが大切だと思う。</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>地元就職を希望する学生の割合が高い傾向にあるため、人口ビジョン 6-2「若者と女性の移住・定住促進」に記載のとおり、卒業後の定着を支援するため、就職機会の拡充や魅力ある雇用の創出、起業・創業支援の充実に取り組めます。加えて、市内各エリアの松本ならではの暮らしの魅力を可視化・発信することで、学生や若者が「松本に暮らし続けたい」と思える環境づくりを進めます。今後も引き続き、松本らしさを大切にしながら具体的な支援策を実施します。</p>
1 6	<p>【取組みの方向性】</p> <p>若者が定住するかどうかは、就職先の見つけやすさや経済的な負担の度合いが大きく影響していると思う。特に、奨学金返済を抱える若者にとっては、家庭を持つことや暮らし</p>	<p>【イ 趣旨同一の意見】</p> <p>松本市では、若者が安心して定住・就業できる環境づくりに取り組んでいます。具体的には、人口ビジョン 6-2「若者と女性の移住・定住促進」に記載のとおり、就職機会の拡充や起業・創業支援、多様な働き方の支援</p>

	<p>を安定させることが経済的に大変なため、就職しやすい環境の整備や経済的負担の軽減策を講じることが、若者への支援として重要だと思う。</p>	<p>を進めるとともに、奨学金返還支援など経済的負担を軽減する施策を実施しています。今後も引き続き、若者が結婚や子育て、住宅取得などライフステージに応じた生活設計を行いやすい環境の整備を進め、松本市で安心して暮らし続けられるよう取り組みます。</p>
17	<p>【取組みの方向性】 20代女性が東京圏へ流出している要因について、松本市としてどのように分析しているのか。</p>	<p>【オ その他】 20代女性が東京圏を選択する要因については、各種調査において、「自分の夢ややりたいことを実現できそう」であることや、「希望する仕事や、その仕事に就ける就職先が多いこと」といった職業的要因が上位に挙げられています。こうした現状認識を踏まえ、人口ビジョンの「取組みの方向性」では、多様な働き方の推進やキャリア形成支援などを通じて、女性が自らの能力を発揮し、様々な分野で活躍できる環境の実現を目指すことを新たに掲げました。</p>
18	<p>【取組みの方向性】 今回の改訂では、「多様性を尊重した社会環境づくり」が新たに設けられ、「外国人住民との共生」という方向性が示されている。ただし、外国人住民以外にも、障がい者や性的マイノリティなど多様な人がいる中で、こうした人たちに対してはどのように考えているのか。</p>	<p>【オ その他】 人口ビジョンの「多様性を尊重した社会環境づくり」では、以下の2つの方向性を示しています。 ①互いの個性や立場を認め合う社会の実現 ②外国人住民との共生の推進 「互いの個性や立場を認め合う」方向性では、性別、年齢、障がいの有無、性的指向・性自認、ライフスタイルなど、多様な個性を持つ全ての人が自分らしく生きられる社会を目指しています。 松本市では、こうした多様性を尊重し、互いの違いを認め支え合う文化の醸成に向けた取組みが重要であると考えています。</p>